

柏市立大津ヶ丘中学校グランドデザイン		校訓	＜令和7年度＞
		実践・創造・勇気	
目指す学校像		柏市の4c Concept 見通す力 Challenge 挑戦する力 Communication 関わりあう力 Control 自律する力	期待する生徒像
安全で楽しく、自己実現できる学校 ●生徒が通いたいと思う楽しさのある学校 ●保護者が通わせたいと願う信頼のある学校 ●地域に関わりたいと思う期待がある学校 ●教職員が勤めたいという誇りのある学校			豊かな心と学びのある生徒 ●学力を深め創造する生徒 ●たくましく実践力のある生徒 ●思いやりと勇気のある生徒 ●社会に貢献できる生徒
学校教育目標「未来を切り拓く人間力の育成」 令和7年度の重点目標 学ぶ習慣と学習事項の定着を図る ～「見通す」「実行する」「振り返る」の循環を通して～			
豊かな人間性 ○思いやりと感動、命の大切さ ・道徳教育を中心に豊かな心や命を大切にすることを涵養し、共生社会形成への理解を深める ・全教育活動を通じて思いやりと感動する心を涵養し、豊かな人間性を育成する			健康・体力 ○コーディネーション「心と体を整える」 ・生涯スポーツの土台をつくる ・メンタルヘルスと運動、給食と保健指導を通じて健やかな体を育成し、心と体の調和を図る ・安全教育と防災教育の充実を図る
		資質・能力の育成 新時代に向けて4つのCの育成	
Creativity(クリエイティビティ)「自由で柔軟な発想を大切にしよう」 Communication(コミュニケーション)「お互いの考えをしっかりと伝えあおう」 Collaboration(コラボレーション)「みんなで力を合わせて問題を解決しよう」 Critical(クリティカル) thinking(シンキング)「それで本当に良いのか慎重に考えよう」			
何ができるようになるのか ○学習や体験したことを活かしてクリエイティブな思考ができる ○自分の考えを様々な手法で表現できる ○多様な考えを受け入れ課題解決のために協働できる ○物事を多角的、多面的に捉え慎重に判断できる →◆将来、自立して社会の中で生きていくために、今から育てなければならない能力や態度を身につけることができる			何が身についたか ○独創性 ○創造力 ○対話力 ○表現力 ○協働性 ○調整力 ○批判的思考力 ○判断力 ○問題解決力→◆基礎的汎用的能力が身につく ◇人間関係形成・社会形成能力 ◇自己理解・自己管理能力 ◇課題対応力 ◇キャリアプランニング能力
生徒の実態 家庭環境、学力、社会性、人間性に様々な課題を抱える生徒がいるが、素直で心優しい生徒が多く、行事や委員会活動に対する意欲は高い。学習・生活で個別指導・支援の必要な生徒を含め将来に向けての目標を持たせ、変化に対応し自立できる力を身につけさせる必要がある。		生徒の発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする生徒への指導 ・個に応じたきめ細やかな指導 ・オンラインとセカンドルールの充実 ・チーム対応及び支援と関係機関との連携	目指す生徒の姿 ・いかなる社会においても主体的に考え、判断し、行動できる生徒 ・逆境に耐え、命を大切にし、粘り強く活動できる生徒 ・学び方を身につけ生涯を通じて学び続けることができる生徒 ・職業観、勤労観を獲得し、自立して社会で生きることができる生徒
何を学ぶのか ○教育課程の編成 1 教育活動全体を通じて新時代に向けて必要な4つのCの育成 2 言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成 3 1年から3年間を見通した総合的な学習計画＜教科横断的な学び＞ 4 家庭と連携した学習習慣の確立と計画的なテスト勉強の支援 5 キャリアパスポートを活用し、3年間継続した職業観・勤労観の育成		どのように学ぶのか ○教育課程の実施 1 体験を重視し、生徒の主体的な学びを基盤とした活動 2 自分の考えを表現する、伝える課題や場面づくり 3 教科・学活・道徳・総合的な学習の運動による年間学習計画の実施 4 適切な自学課題の設定と家庭学習ノートやICT端末による学習の習慣づけ 5 キャリアパスポートに継続して職業・勤労についての学びや記録を蓄積	
実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭、地域との連携・協働			
●ローテーション日課による単元テストの実施←フォーサイト手帳を活用し「見通す」「実行する」「振り返る」を循環 ●「主体的・対話的で深い学び」への授業改善・授業力の向上←問いと課題の工夫・働き方改革＜教材研究時間の確保＞ICTの活用 ●いじめ・不登校・不適切な指導を生まない学校経営←生徒指導部会等を核とした組織的な対応・教育相談等による予防的な対応 ●学びの連続性を意識した小中の連携←情報交換、相互参観、合同研修「小中9か年での指導・育成の重点の共通理解」KMGsの実施 ●学校教育,家庭教育,社会教育が連携した共育への意識変革←CSや小中連携を機能させ、学校、家庭、地域社会で分担・協働			
○安心・安全を守る ・自分の命は自分で守る生徒の育成（安全教育、防犯・防災教育） ・自己有用感が感じられる安心な学年・学級づくり		○開かれた学校づくり ・地域の人材・教材を活かした学校づくり＜職場体験・部活動等への支援＞ ・HP、学校・学年・学級だよりによる積極的な情報発信 学校参観機会増 ・校則の改訂＜教師・生徒・保護者で協議＞	